

平成29年度 第2回健康づくり審議会議事録

1. 開催日時
平成30年3月5日（月）午後1時30分～午後2時30分
2. 開催場所 保健センター2階研修室
3. 出席者
 - (1) 委員
岡本和士委員（会長）、杉山敬委員、寺町信秀委員、大島明子委員、
磯田奈麻実委員、岡島みさき委員
 - (2) 事務局
保健センター所長 櫻井充一、主査 牧聡子、保健師主任 太田あゆみ、
保健師 井上友香理
4. 議題
 - 1 開会
 - 2 議題
 - (1) 平成29年度健康習慣実態調査結果について
 - (2) 平成29年度とよやま健康マイレージ事業について
 - (3) 平成30年度保健事業について
 - (4) その他
5. 会議資料
 - ・資料1 平成29年度健康習慣実態調査 調査結果概要
 - ・資料2 平成29年度とよやま健康マイレージ事業実施結果
 - ・資料3 平成30年度豊山町保健事業
6. 事業内容（要点筆記）

【司会】 それでは、ただ今より、平成29年度第2回健康づくり審議会を開会いたします。私は、本日の審議会の司会を務めさせていただきます保健センター保健師の井上です。宜しくお願いたします。

まずはじめに、本日、清須保健所山村委員、前田委員から欠席のご連絡をいただいておりますのでご報告します。

議題に入ります前に、本日の審議会の資料を確認させていただきます。

事前にお配りした資料として、「資料1 平成29年度健康習慣実態調査調査結果概要」「資料2 平成29年度とよやま健康マイレージ事業実施結果」「資料3 平成30年度豊山町保健事業」があります。資料に不足等はございませんでしょうか。ありましたらお申し出ください。

今回の審議会の議事録は、前回と同様、町公式ホームページに掲載させていただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。

それでは、開会にあたりまして岡本会長から一言ご挨拶をいただきます。

【会長】年度末のお忙しいところご苦勞さまです。まず第一の議題として健康習慣実態調査があります。これは町の実態をみるために貴重なものでありまして、なかなかこういった調査は他の市町村ではやれていないという実態があります。これにつきまして皆様にご意見やコメントをいただき、町としての健康状態をより高めるといふことをご議論お願いいたします。

【司会】それでは、以後の会議の進行については、岡本会長の取り回しでお願いします。

【会長】それではただ今から、議事の進行をさせていただきます。

まず、会議録署名委員の指名ですが、大島委員と岡島委員を指名いたします。後日、事務局が本日の議事録を作成後、署名をいただきに伺いますので、よろしく申し上げます。それでは、次第に沿いまして、まず、議題（1）平成 29 年度健康習慣実態調査結果について事務局からの説明をお願いします。

【事務局】平成 29 年度健康習慣実態調査 調査結果概要について説明—

【会長】事務局からの説明が終わりました。

ただ今の説明について、委員の皆さんからご質問がありましたら挙手をお願いします。

【委員】うちも上の子がちょうど大学生で 20 歳ですが、やはり生活習慣もアンケート通りかなと思います。やはり食生活も食べたいものを食べるという感じで。野菜がもともと好きではないのもあり、野菜ジュースで補っていると思います。あと下の子が中学生なんですけど、私たちお母さん友達の間で例えば「ヨガ、やりたいね」と言っているけど町でやっているヨガ教室は昼間の事が多いのでなかなか参加ができません。そういったものにも参加できるといいなと思っています。

【会長】今、そのようなご要望が出たんですけども、どうしても働いている方は、そういったものに参加しようとしてもなかなか参加できないということがありますので、町のほうでもまた調整が必要かなと思います。

【委員】参加できない方の中には「知らない」「認識不足」の方も多いと思います。「ここでこういう事業をやっている」「保健センターでこんな事業をやっている」ということを知らない方も多い。ヨガも 3 グループから 4 プループ位やっています。

【委員】夕方やっているグループもありますか。

【委員】なかなか夕方にやっているグループは少ないですね。夕方は一見人が集まりそうですが、女性は夕方に夕飯の支度等がある人も多いのでなかなか難しいかもしれないですね。結構少人数でやっていますよ。7 から 8 人くらいで。

【委員】やはり働いている方の参加は難しいですね。

【会長】そうですね。これからの働き方改革で言われているワークライフバランスの一環となっていくのかなと思いますね。

【委員】基本的な質問ですけれども10年計画で、今回の調査はちょうど真ん中のものであると聞きましたが、調査対象は2回とも無作為で違った人ですか。

【事務局】そうです。毎回無作為で抽出しておりますので対象は異なっております。

【委員】私個人の意見ですが、一番最初にアンケートをして、5年後にどのように自分の意識が変わったかなというのが知れると、より良い実態調査になるのではないかなと思いました。それと年をとるといろんなことをやるのが面倒くさくなってくると思います。町の広報に栄養バランスの色分けの話題がありました。年をとると10項目くらいに分けていただいて、肉とか魚とかお野菜とか果物とか細かな項目を作っていただくと良いと思います。今、朝食をとらない人もアンケートで多いようですが「時間がない」というのは理由にならないのではないかと思います。早く起きてお母さんが作ってくれたものを食べるとか、自分でちょっと何かを作るといようなことをすれば良いと思います。例えば家族で今日はいくつ食べられたかなと丸をつけるとか、小さい子にシールを貼らせるなど、そういったものがあると栄養のバランスなんかも楽しんで取り組むことができるのではないかと思います。

【会長】ありがとうございました。

【委員】今、「まごはやさしい」というものがありますが、知らない方もいると思います。保健センターは親子で来る人も多いので、ポスターなどを大きく貼るといのもいいのではないかと思います。

【会長】これから、検討が必要ですね。やはり女性のほうが適正な飲酒量を知らないというのがありました。男性の場合は会社にいると情報が入ってくる場合もありますが、女性のほうは情報が入る頻度が少ない傾向もありますので、いろんな場所で学習ができるということが必要かと思えます。

【委員】歯科口腔のアンケートが前回の調査より改善しているというのは、現場にいても健診を受ける方が増えている印象があります。あとは歯磨きのためだけにまた歯医者に来るように伝えた方がちゃんと来るようになりました。そういう事からも歯磨きに対する認識も変わってきたなというのは感じます。

【会長】名古屋大学が行った研究で歯磨きを1日1回未満であると咽喉頭がんの発症リスクが3倍ぐらい上がるというのがありました。

【委員】そうですね。歯磨きに対する認識というのがベースですから、そういったものがなければ僕らが一生懸命やっても意味が無いので。そういったベースがだいぶ浸透してきたという認識があります。前回より上がってきたのはそういうものがあるかなと思えます。

【委員】8020が、やはりお年寄りの中に入るといつも話題になります。だから歯医者さんに行くとか歯が20本あるか見てもらうって方も多いですね。だからそれも効いているんじゃないでしょうかね。

【会長】歯科の認識が上がればだいたい口の中から病気が始まると言いますからね。

【委員】ストレスの項目で、20歳～39歳が高い方が多いですね。「逃げ

出したい」と言う人も多い。そういったものが喫煙開始年齢と重なっているのも何か関係があるのかなと思います。25歳くらいからどっと増えますもんね。やはり仕事を始めて、学生の時とは違いますから。あとストレスを解消する手段を持っているかというところで「どういうことでストレスを解消するのか」わからない人もいっぱい見えます。どういったことがストレスを解消できるのか人によって違いますから、「こういうことをするとストレス解消できますよ」ということを少し2,3個でいいから出すとまた違うと思います。

【会長】町民の方がどんなことでストレスを解消しているか調べて、提示していくということも必要ではないかと思います。20歳～39歳といったこの町を将来背負っていく世代について、職域とも連携していくことで町全体の健康度を高めていく事も今後は必要ではないかと思います。今回の実態調査は、今後の町の方針を検討していく上で非常に貴重なものであると思います。これからまた町のほうでクロス集計を実施して、細かいところを出していこうと思います。また、皆様方にもご提示をしていきたいと思います。ご意見ありがとうございました。他にもご意見がありましたら、また事務局のほうへお問合せください。それではこれで議題（1）についての審議を終了します。

次に議題（2）平成29年度とよやま健康マイレージ事業について事務局からの説明をお願いします。

【事務局】—平成29年度とよやま健康マイレージ事業実施結果について説明—

【会長】事務局からの説明が終わりました。

ただ今の説明について、委員の皆さんからご質問がありましたら挙手をお願いします。今回は小学生も対象として実施した訳ですが、平成30年度は中学生以上も対象に実施する予定ですが、これについてご意見はいかがでしょうか。

【委員】最初これが出だしたときに、パンフレットを見せてもらって申し込もうかなって思ったんですが、結局やめてしまったんですね。先ほどの話にもありましたが面倒くさくて続かないというのがあって、健康診断を受けるだけでもポイントが付くということで、保健センターでも誘っていただいたんですが、結局参加できていません。

（会長）引き続き、どうして必要か啓発していく事が必要ですね。

【委員】私の周りは喜んで参加している人も多いです。書くのが面倒くさい人は面倒見の良い人が一緒に記入をしています。

【会長】そういうつながりも必要ですね。なかなか1人では行えない人は地域連携が必要ですね。逆にプレッシャーになってしまう人もいるかもしれないですが、そのような人にはメリットを伝えて積極的な啓発をして、できるだけ皆さんの健康度が上がると良いかと思います。

【委員】チャレンジ目標はあるのは小学生だけですか。

【事務局】しっかりとした目標を設定しているのは小学生だけで、大人の方は「運動をしましょう」ということを目標に取り組んでいただいています。

【委員】始めの3つ（早寝・早起き、朝ごはん、歯磨き）くらいは大人にも取

り入れても良いのではないのでしょうか。自分が食べないのに子どもだけ朝食を食べろというのはどうかと思います。メディアとはどういったものを指しますか。

【事務局】メディアと言うのは一日にみるテレビやパソコンを小学校の目標では2時間以内にしましょうと言っているので、2時間以内にするという目標にしています。

【事務局】小学生になる子どもがいる親くらいは少しこういったものも目標に取り入れたほうが一緒に取り組めて良いのではないのでしょうか。

【会長】そうですね。親子でチャレンジですね。親子で取り組むということも大切ですね。豊山町としてこの3つ（早寝・早起き、朝ごはん、歯磨き）を目標として入れるという内容を検討しても良いのではないのでしょうか。是非一度事務局でも検討をお願いいたします。

【会長】次に議題（3）平成30年度保健事業について事務局からの説明をお願いします。

【事務局】—平成30年度保健事業について説明—

【会長】事務局からの説明が終わりました。

ただ今の説明について、委員の皆さんからご質問がありましたら挙手をお願いします。

【委員】乳がん検診とか子宮がん検診の受診率が30%と低いですよ。だから集団検診が始まってここでやっていただけるのはいいことだと思います。豊山にあった婦人科がなくなって、車が運転できない人などが行けないので前より受診される方が少なくなっているように感じていたので、保健センターでやっていただけるのは、みなさん喜ばれると思います。

【委員】今、お母さん方に子どものお口の中を見てもらうということを習慣づけていく事をやってもらいたいので、保健センターでも動機づけをやっていってほしいなと思います。

【会長】口の健康は非常に大切ですね。3か月児健診や10か月児健診など早期から動機づけをしていってほしいなと思います。他に何かご意見はないのでしょうか。ないようですので、次に議題（4）その他について、事務局から報告事項等がありましたらお願いいたします。

【事務局】皆様の任期についてお知らせします。今年度の審議会は本日で終了です。ご協力ありがとうございました。皆様の委員としての任期は、平成30年7月20日までとなっております。次回の会議は、生活福祉部審議会と合同で開催します。継続して委員をお願いする方には事前に連絡いたしますのでよろしくをお願いいたします。PTA代表の方につきましては、後任の方への連絡をお願いいたします。

事務局からの連絡は以上です。

【会長】本日本日予定をしておりました審議会の議題については、全て終了しました。これを持ちまして、平成29年度第2回健康づくり審議会を閉会させていただきます。ご協力ありがとうございました。

議事録の署名

平成30年3月14日

岡 本 和 士

大 島 明 子

岡 島 み さ き